

大猷院殿小治みえ寛永十六譜十月

小十人家譜同十八年十月神保

三郎之侍組家譜小十人家譜組家譜なり

寛永慶米八十俵餘家譜と加家譜る家譜

太郎政久  
の祖なり

石川

又右衛門源成次家譜日向守家成家譜の四男家譜

として長門守康通家譜の弟家譜なり

め左京重成家譜と稱家譜る先祖小野権守家譜

政康より相継家譜る三河國小川に城家譜す

住家譜る父家成家譜

東照宮小治への一の御陣小治奉家譜して

軍功と顯りて天正八年家と男康通に

讓つまゝ致仕人同十八年隱栖の料と  
して五年石と賜り慶長十四年七十  
六歳少して死に兄康通天正八年家  
と继同十八年と總國少く二万石とた  
まふ後加増ありて美濃國大垣城五万  
石と領ひ家譜成次慶長十二年六歳  
して兄康通少くして同十四年八歳  
のとき父家成少くつれり

東照宮小まみりこと成得ひあま  
る之家成り外孫に殿頭忠總

東照宮に仰せり石川の家と继たれハ  
い少く成次世より出りて慶士と稱

寛永譜貞  
享書上  
其後成次二河小在り

家譜  
寛永十一年

大猷院殿活小のあつて終ひ還清小の  
因と過らせ終ふ此より成次大平小出て

迎へまつりせ愁訴せしる久望二年正月  
召出さむ

久猷院殿小辨禱寛永譜貞享書上やうき清

小性組の番士小列貞享書上康朱二百俵

と賜ふ後小番とあるところ小普請と

まろ家譜其子彦五郎成久慶安元年

くきめ

久猷院殿小ゆみえ八月より清書院

の番士小列貞享書上家譜○子孫石川源  
二郎某元禄四年死しる

嗣子として  
家絶中